



## 一般質問

# ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、6月12日から13日までの2日間行われ、11人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。掲載は質問順としています。

## 予算の充実で 希望が見える教育を

五十嵐 多喜子 議員

答 財政力を見極め  
検討していく

**問** 貧困による教育の格差についてどう思うか。

**学校教育課長** 経済力、家庭環境によって格差につながらないようにと考える。就学援助事業、特別支援教育支援員は支援策の一つである。

## 親になるための 学習プログラムの 導入を

**問** 親への教育という部分ではどうしているか。

**学校教育課長** 社会教育で講座、研修を実施。民生部でも役割分担で実施。  
**問** 施設整備の充実の具体的な計画があるか。

**市長** 今後は筑後市全体の施設改修等の計画を策定し、施設の長寿命化対策を優先し計画的に改修に取り組んでいきたい。

**学校教育課長** 市の小中学校は、概ね築30年以上経過している。建物の寿命をのばすために屋上防水、定期的なメンテナンスを行う必要がある。

**問** 自治体により経済的格差はあるが、当市の教育予算はここ10年の平均は全体の支出の9・5%

である。教育予算が増えない理由は何か。

**総務部長** 市町村では教育予算で最も多いのが施設整備だ。ソフトの部分は国等の財源を活用し、その他は市費での予算措置となる。自治体の財力を見極め、今後検討していく課題である。



未来を担う子供たちへ教育施策の充実を